

特産品たっぷりの折詰と迫力の能舞に大満足！

～ひがしどおり「郷土芸能」と「食」を楽しむ会～

3月26日、大利ふるさと伝承館で、ひがしどおり「郷土芸能」と「食」を楽しむ会が開催されました。

この会は、東通村観光協会、東通村郷土芸能保存連合会、東通村商工会の3団体が主催しているもので、今年で7回目を数えます。

当日は、110名のお客様が来場し、青森市からお越しの方もいらつしやいました。会場では、カレイや東通牛など東通村の海の幸と、山の幸をふんだんに使った東通折詰と十割そばのほか、酒類や東通牛串焼きなども提供されていました。

今年も、尻労後援会による「十番切」と「鞍馬」、大利もちつき踊り保存会による「もちつき」と、「つきあげ」が披露され、会場からは大きな拍手が送られていました。

この会は来年も実施されるとのこと。初参加の来場者から「初めて来たが、想像以上に楽しめた。来年もまた来たい」との声が上がっていました。



会場の観客からの惜しみない拍手



大利もちつき踊り保存会による「もちつき」



尻労後援会による「鞍馬」

原子力防災対策について

村では、東通原子力発電所で大規模な事故が発生した際に、村民の皆さんにとっていただきたい行動や知っておいていただきたいことなどについて、これまでも「原子力防災ガイドブック」を全戸配布するなどしてお知らせしています。住民の皆さんにさらに知っていただきたいことについて、定期的に広報紙に連載してお知らせしていくこととしました。

◆原子力災害の特徴◆

- ◇地震や津波などとは違い、原子力発電所から放射性物質が放出された場合、その影響は五感で感じるできません。
- ◇そのため原子力施設の状況や放射線の測定結果を踏まえた判断が必要であり、国や県、村の指示に従って行動する必要があります。

※原子力災害発生時のイメージ図



※放射性プルームとは、気体状の放射性物質が大気とともに煙のように流れる状態のことです。

○次回は「外部被ばくと内部被ばく」についてです。

〈問合せ先〉 原子力対策課
☎ 27-2111 (内線233)